

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
郡山市	田村町田母神地区 (田母神)	平成29年8月30日	令和6年3月13日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	188.4 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	121.8 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	55.6 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	29.4 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	-
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	12.12 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

田母神地区の農地の状況は、70才以上で後継者未定の農業者の耕作面積が29.4haで中心経営体の引き受け意向のある面積より、70歳以上で後継者未定の農業者の耕作面積が23.2ha多く、新たな農地の受け手の確保が必要である。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

田母神集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者6経営体、認定新規就農者1経営体、基本構想到達者1経営体、その他5経営体が担っていくが、地区内の農業者の高齢化が進んでいるため、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者等の受入れを促進することにより対応していく。

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む 範囲
計	13 経営体	水稻ほか 酪農	28.85 ha 30 頭	水稻ほか 酪農	40.97 ha 30 頭	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

・担い手の育成、確保等について
田母神地区は、後継者のいない農業者が多いため、話し合いを継続していくことで、定年帰農者や新規就農者の誘導などについて地区内で情報を共有し、また地域全体で育成支援していく。

・地域農業全体について
多面的機能支払組織や中山間地域等直接支払い組織などによる活動を継続していくことで、遊休農地の発生を予防し、また電気柵の設置などの有害鳥獣対策を実施していく。
なお、農業用機械や施設の導入、更新の際には、補助事業等を活用していく。

・農地中間管理機構の活用方針
地域の農家が様々な事情により営農の継続が困難になった場合に、農地バンクの機能を活用し、地域の中心経営体である担い手へ機構を通じて貸付をすすめていく。